

2019年3月期 第1四半期連結決算ハイライト

阪和興業株式会社
(単位: 億円 億円未満切捨て)

2019年3月期 第1四半期決算の概要

・本年度第1四半期決算は、鋼材価格が前年同期に比べ高い水準にあったことや合金鉄の拡販などにより、売上高は前年同期比22%増の4,974億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の為替差益が差損に転じたことや持分法適用会社からの投資損益が損失になったことなどにより、前年同期比20%減の35億円となりました。
・年間配当は150円(中間配当75円、期末配当75円)を予定しております。

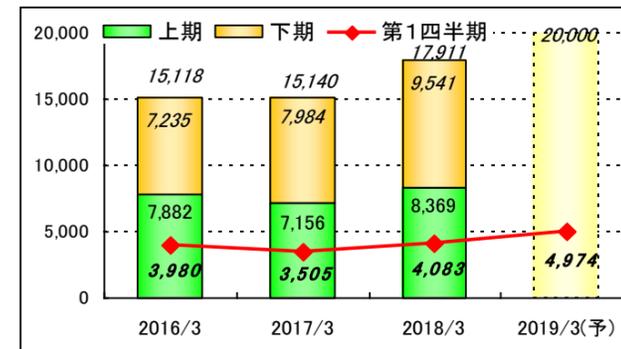
経営成績	当第1四半期 (累計)	前第1四半期 (累計)	前年同期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	4,974	4,083	890	22%	<p>(売上高) 鋼材価格が前年同期に比べ高い水準にあったことや、合金鉄やステンレス母材の拡販などにより、前年同期比22%の増加となりました。</p> <p>(販管費) 新規連結した子会社の影響などにより、前年同期比で8%約9億円の増加となりました。その内、人件費は約7億円(新規連結子会社分は約5億円)の増加でした。</p> <p>(営業外損益) 営業外収益は約9億円減少し、営業外費用は約10億円増加しました。主な内訳は以下のとおりです。 為替差損益 : 前期 約4億円の差益 : 当期 約5億円の差損 持分法投資損益: 前期 約2億円の利益 : 当期 約3億円の損失</p> <p>(特別損益) 当期は、特別損失として投資有価証券に対する評価損を約1億円計上しました。</p>
売上総利益	184	166	18	11%	
販管費	122	113	9	8%	
営業利益	61	52	8	17%	
営業外収益	16	25	△9	△37%	
営業外費用	23	12	10	89%	
経常利益	54	66	△11	△17%	
特別利益	—	2	△2	△100%	
特別損失	1	—	1	—	
税引前四半期純利益	53	68	△14	△22%	
法人税等	19	23	△3	△15%	
四半期純利益	33	44	△11	△25%	
親会社株主帰属分	35	44	△8	△20%	
非支配株主帰属分	△2	0	△2	—	
E P S	87.84円	109.10円	21.26円	19%	
四半期包括利益	22	37	△15	△42%	

セグメントの状況	売上高			セグメント損益(経常損益)			主な要因
	当第1四半期	前第1四半期	増減率	当第1四半期	前第1四半期	増減率	
鉄鋼	2,434	2,099	16%	44	49	△10%	<p>(鉄鋼) 鋼材需要が堅調に推移し増収。鋼材価格は引き続き高い水準を維持しましたが、上昇ペースは徐々に安定局面に入ったため利幅は縮小し減益となりました。 (金属原料) ニッケルやシリコン系の合金鉄価格が上昇した他、クロム系の合金鉄やステンレス母材の拡販により増収に。利益面では為替差損や持分法投資損失の影響などにより減益となりました。 (非鉄金属) 国際価格が高い水準で維持したことに加え、アルミ・銅スクラップの販売増により増収。金属価格の上昇幅が縮小したことや為替差損の発生により減益となりました。 (食品) サケ類を中心に商品価格が高い水準で維持した他、鶏肉類の取扱量増により増収・増益となりました。 (石油・化成品) 原油価格の上昇基調が続く中で石油製品価格も高い水準が続き増収となりましたが、仕入れコストの上昇などにより減益となりました。 (海外販売子会社) シンガポールでの船用石油・非鉄スクラップの取扱い増やインドネシアの鋼材販売増加により増収。また米国鉄鋼事業の採算改善が利益に寄与しました。</p>
金属原料	728	435	67%	△1	11	—	
非鉄金属	261	236	10%	2	4	△53%	
食品	274	256	7%	5	4	17%	
石油・化成品	595	543	10%	4	5	△21%	
海外販売子会社	700	512	37%	4	△0	—	
報告セグメント計	4,994	4,083	22%	59	75	△22%	
その他	191	166	15%	△0	0	39%	
合計	5,186	4,250	22%	60	76	△21%	
調整額	△212	△166	△28%	△5	△10	47%	
PL計上額	4,974	4,083	22%	54	66	△17%	

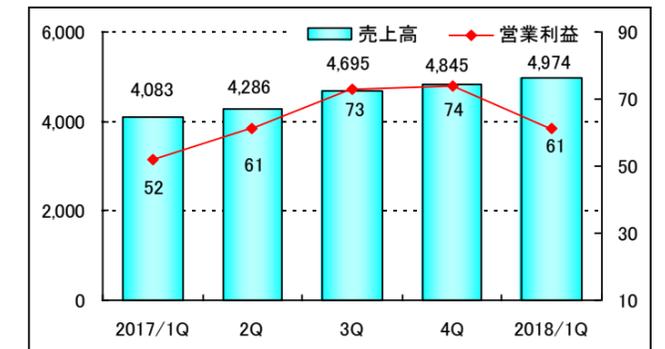
トピックス
5月 ・マレーシアのコイルセンターTatt Giap Steel Centre Sdn. Bhd.に追加出資し子会社化

財政状態	当第1四半期末	前期末	前期末比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	9,178	8,603	575	7%	<p>(総資産) たな卸資産や現預金の増加などにより、前期末比7%増となりました。 たな卸資産 1,499億円(前期末比 +11%) 現預金 419億円(前期末比 +16%)</p> <p>(負債) 短期借入金やコマーシャル・ペーパーの増加などにより、前期末比9%増となりました。有利子負債は約13%増加し、ネットDERは1.7倍となりました。</p> <p>(純資産) 四半期純利益からの積み上がりはありましたが、前期期末配当金の支払いによる剰余金の処分や為替換算調整勘定の減少により、前期末比5億円の増加に留まりました。 自己資本比率は、前期末比△1.3ポイントの20.5%となりました。</p>
(流動資産)	6,878	6,441	437	7%	
(固定資産)	2,299	2,162	137	6%	
負債	7,135	6,566	569	9%	
(グロス有利子負債)	3,687	3,255	431	13%	
(ネット有利子負債)	3,267	2,893	374	13%	
Net DER	1.7倍	1.5倍	0.2倍	13%	
純資産	2,042	2,037	5	0%	
(株主資本)	1,740	1,729	10	1%	
(その他の包括利益累計額)	139	148	△8	△6%	
(非支配株主持分)	162	158	3	2%	
B P S	4,627.32円	4,621.96円	5.36円	0%	
自己資本	1,880	1,878	2	0%	
自己資本比率	20.5%	21.8%	△1.3pt	—	

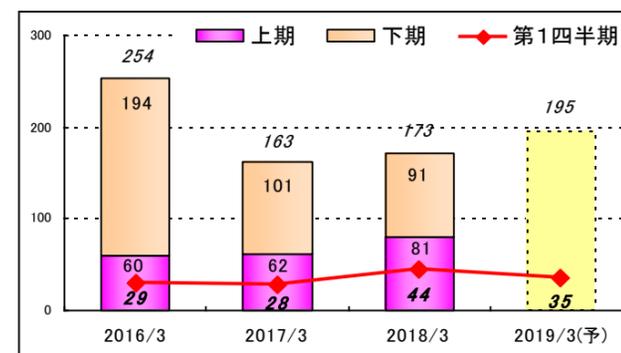
【売上高推移】



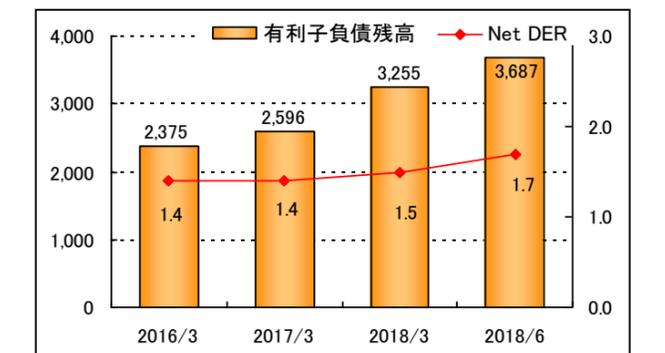
【四半期業績推移】



【親会社株主に帰属する当期純利益推移】



【有利子負債推移】



通期の見通し	通期業績予想	前期実績		対前期増減率	配当の状況	前々期末実績	前期末実績	当期予想
		前期実績	対前期増減率					
売上高	20,000	17,911	12%	中間期	45.00円	50.00円	75.00円	75.00円
営業利益	310	262	18%	期末	50.00円	75.00円	75.00円	75.00円
経常利益	300	255	18%	年間配当	95.00円	125.00円	150.00円	150.00円
親会社株主に帰属する当期純利益	195	173	12%	配当性向	24%	29%	31%	31%

(実績は、5株を1株にする株式併合の影響を加味して換算しております。)